

NEWS RELEASE

京阪ホールディングス株式会社
経営企画室 経営戦略担当(ブランド・広報)
京阪電気鉄道株式会社 広報部

2026(令和8)年9月3日

新たな沿線プロモーション ～京阪電車で「寛永文化」ゆかりの地へ～

- 「寛永行幸四百年祭」に合わせ、日本の美意識の源流ともいえる寛永文化を発信
- 京阪沿線の寛永文化ゆかりの地を巡るパンフレット等を展開

本年2026年は、1626(寛永3)年に催された「寛永行幸」から400年の節目に当たります。そして、行政・経済界・文化芸術団体等によるオール京都の組織「文化庁連携プラットフォーム」のプロジェクトとして、「寛永行幸」を再現するイベントが実施され、江戸時代前半に花開いた「寛永文化」を振り返るイベント等が開催されています。

これを機に、京阪ホールディングス株式会社(本社：大阪市中心部、社長：平川良浩)および京阪電気鉄道株式会社(本社：大阪府枚方市、社長：井上欣也)では、京阪沿線に広がる寛永文化ゆかりの地を紹介するパンフレット、WEBサイトを制作、展開します。また、9月14日(月)からは寛永行幸四百年を記念したヘッドマークを掲出した列車を運行いたします。本取り組みにより、12月6日(日)に京都・二条城周辺等で行われる「行幸行列再現イベント」の機運醸成を図るとともに、寛永行幸四百年祭を応援してまいります。

「寛永行幸」とは、江戸時代はじめの1626(寛永3)年に後水尾天皇と徳川幕府の大御所・徳川秀忠、将軍・徳川家光が京都・二条城で5日間にわたり交流した一大イベントで、その後の日本文化を形作る礎になりました。絵画や書、工芸、庭園、茶道・華道・香道などの芸道、出版など、様々な芸術や文化が寛永年間(1624～44年)に代表される時期に花開き、現代まで大きな影響を与えています。これらの文化は、二条城や修学院離宮、養源院、滋賀院門跡をはじめとする由緒ある名所、泉屋博古館・京都文化博物館等、京都を中心とした各地に息づいており、京阪電車でゆかりの地を巡っていただくことができます。

本プロモーションは、京阪グループが長期経営戦略上の主軸戦略として定める「体験価値共創」の一環として、地域ステークホルダーと連携しながら京都に息づく寛永文化を深掘りし、発信するものです。

400年の時を超えて、日本文化の源流とされる寛永文化を感じる旅にでかけませんか。詳細は別紙のとおりです。

別紙

～京阪電車で「寛永文化」ゆかりの地へ～ プロモーション概要

1. パンフレットの発行

【発行日】2026年9月8日(火)より順次

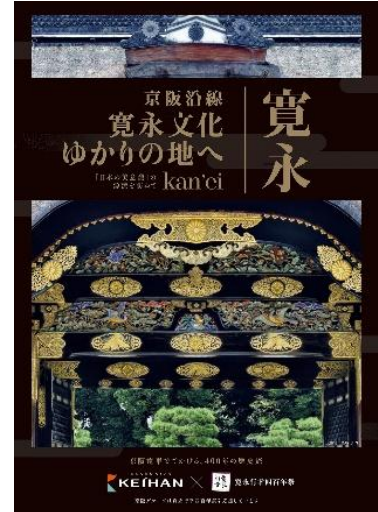
【内 容】(1)寛永期に花開いた「日本の文化」
(2)寛永行幸四百年祭
(3)じっくり楽しむ「寛永」の二条城
(4)京阪沿線 寛永文化ゆかりの地 MAP
(5)寛永の旅ガイド

【構成】A4サイズ・14ページ

【配布場所】京阪電車 主要駅・「プレミアムカー」車内、
ホテル京阪 京都 グランデ・京都駅南・京都八条口、
京都タワーホテル、京都タワーホテルアネックス、
京都センチュリーホテル、
THE THOUSAND KYOTO(ザ・サウザンド京都)他
※配布数には限りがございます

【備 考】

各制作物は寛永行幸四百年祭を主催する寛永行幸四百年祭
実行委員会に監修いただいております。



パンフレット(イメージ)

2. WEBサイトの公開

【公開日】2026年9月3日(木)

【内 容】パンフレットへの掲載内容

【U R L】<https://www.keihan.co.jp/kanei/>

3. ポスター掲出

【掲出開始日】2026年9月9日(水)より順次

【掲出場所】京阪電車 主要駅・車内他



4. 記念ヘッドマークを掲出した列車の運行

【運行期間】 2026 年 9 月 14 日(月)～12 月 6 日(日)

【運行区間】 京阪本線・鴨東線（淀屋橋駅～出町柳駅間）

中之島線（天満橋駅～中之島駅間）

※通常の定期列車として運行します

※車両運用の都合上、運行しない日がございます

【使用車両】 13000 系車両（7 両編成 1 編成）



ヘッドマーク(イメージ)

～「寛永文化」ゆかりの地巡りは京阪電車の便利な乗車券で～

<詳しくはこちら> <https://www.keihan.co.jp/traffic/valueticket/>

以 上